

北部地区(児玉・大里)人権教育実践報告会

令和4年7月29日(金) 会場：本庄市民文化会館

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉 副実行委員長
(2) 挨拶 北部教育事務所長
実行委員長
本庄市長
(3) 人権作文選考の経緯 人権作文選考委員長
(4) 人権作文の発表、感謝状・記念品の贈呈
・「わたしのかみのけ」 本庄市立金屋小学校 第2学年
・「ぼくのおかあさん」 熊谷市立大幡小学校 第4学年
・「お互いを認め合って」 深谷市立上柴西小学校 第6学年
・『みんなの当たり前』は私の試練 寄居町立城南中学校 第1学年
・「言葉の力」 神川町立神川中学校 第1学年
・「自分が自分であるために」 県立熊谷女子高等学校 第3学年
(5) 閉会の言葉 副実行委員長

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
女性 (男女平等)	○本庄市立本庄西中学校における男女平等教育の取組 ○自他を大切にし、心豊かでたくましい児童の育成
子供	○互いに認め合い共に生きる ～人間力のある生徒の育成を目指して～ ○「一人ひとりが個性輝く元気な学校」を目指す人権教育
高齢者	○共生社会の基盤を築く人権教育 ～高齢者との関わりを通して～ ○ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを創る児童の育成 ～地域の先輩 高齢者とのつながりを通して～
障害のある人	○ちがいを認め、自立の精神を豊かに備えた児童の育成 ～4年生総合的な学習の時間むくろじタイムを通して～ ○個性によりそい、みんなで伸びるいずみっ子の育成
同和問題	○確かな学力を身につけた思いやりのある生徒の育成 ～協同学習と道徳・特別活動の充実を通して～ ○響きあい生きるために
外国人・ インターネット による人権侵害	○インターネットを正しく安全に使うことのできる児童の育成 ○他国の人々や文化に対する理解と、それらを尊重しようとする態度の育成

3 参加者の意見など

- (1) 子供達による人権作文は、学年に合った素直でまっすぐなものから、これからの日本の課題になるもの等、感心するものばかりで、心に響きました。
(2) 分科会で人権担当の先生がいることを知りました。その方々を中心にいじめや差別などあらゆる人権問題を考え、なくすよう努力してくださっていること、改めて感謝です。
(3) 子供達の人権への理解や感覚の育成には、体験活動や直接講話を聴くということが大切だと感じました。人権教育の授業や取組を今後も考えたいと思いました。